

令和元年度自己評価結果公表シート

青英学園幼稚園

1. 本年の教育目標

- ◇ 基本的な生活習慣と正しい生活態度、(挨拶、言葉遣い、整理整頓、交友関係、お話を聞く態度等) 特にお話しを聞く時の態度と理解力の向上を図り、集団生活に必要な協調性を養う。
- ◇ 何事にも集中して粘り強く取り組む姿勢を養い、成し遂げた喜びと満足感が自信になり、そこからさらに積極的で明るい性格に育つように導く。
- ◇ 体育・徳育・知育の総合教育を偏りなく実施し、幼児の未知なる可能性と伸び伸びした豊かな心を育む。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ◇ 教育の資質向上への取り組み
 - ☆教育課程の内容を確認し、全職員間で各園児の指導の課題点を話し合う機会を増やすと共に、積極的に研修に参加して保育技術向上を目指す。
 - 特に発達障害やグレーゾーンの子どもについて知識を高める。
- ◇ 法令の改訂を指導計画に生かして、質の高い教育を目指す。
- ◇ 施設環境の向上
 - ☆園児にとってより安全で清潔な環境を整えていく。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	評価	取組状況
教職員の指導能力向上	A	<ul style="list-style-type: none">・ 長期休園日を利用して各種研修会に参加し、学んだことを全職員または各学年で共有することで、専門分野への知識の向上に努めている。・ 年間を通じて専門の先生に指導を受けることで技術向上をはかる。・ 毎日の朝礼終礼で日々の子どもの姿、又は保護者からの意見・要望について、報告・連絡・相談の場を設けて情報を全員が共有する環境を作っている。・ 各グループでの打ち合わせを頻繁に行い、全クラス担任があらゆる情報を共有するようにしている。

園児に接する時の基本姿勢を周知徹底	A	<ul style="list-style-type: none"> 特に、言葉遣いの適正を意識し、親切かつ丁寧な接し方を再確認の上、常に教職員が手本となり行動で示す。 一人ひとりの子どもの長所を認め、教諭が公平かつ客観的に園児を見る目を養うように努める。
食育に関する実践	A	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い・うがい・食事の挨拶やマナー等、良い習慣を常に意識した指導を心掛ける。 旬の食材を生かし、年中行事に応じた季節感を感じることができるよう献立を工夫している。
園舎・園庭などの環境整備	A	<ul style="list-style-type: none"> 常に安全に遊べるように、定期的に遊具点検及び飼育舎や花壇の整備を行い記録をつけている。 暑さ対策を考え、子どもの過ごしやすい環境を整えている。
安全衛生管理	A	<ul style="list-style-type: none"> 安全・保健の年間計画を作成し、管理と指導を行っている。感染症流行期には、感染拡大を防ぐように徹底しました。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

評価 A	<ul style="list-style-type: none"> 教職員各自が保育や役割を学年ごとに振り返り、自己評価を行う機会を設けた。学年だけでなく全職員で点検することで意識をもって取り組むことが出来ていた。 一人ひとり園児の姿を大切に保育教諭が親切丁寧・笑顔で接する事で保育への取り組む姿勢や意欲的に活動する様子がうかがえた。 環境整備を整えるなかで、改善点を見つけすぐ実行しました。(園庭へのミスト設置本数や配置の工夫)
------	---

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルの見直しを毎年する。 (園外活動において園児が通るルート、道路状況など確認し、記録を付け安全配慮を行う。) 消防署の指導も毎年受けながら避難訓練の内容充実を図る。
特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 発達障害やグレーゾーンの子どもを含め、一人ひとりの発達や成長にあわせた指導計画を作成し、集団生活へのスムーズな移行を図る。 巡回カウンセラーの助言をうけ職員全体の理解促進を図る。
食育	<ul style="list-style-type: none"> アレルギー対応食は保護者と連携を取りながら、可能な限り個別対応をして内容の充実を図る。 各家庭でも食育に関心が高まるように、給食だよりの内容を充実させる。